

一〇九九番

片岡かたをかの この向むかつ峰をに 椎しひま蒔まかば 今ことし年の夏なつの
陰かげにならむか

一一〇〇番

巻向まきむくの 痛足あなしの川かはゆ 行ゆくく水みづの 絶たゆることなく
またかへり見みむ

一一〇一番

ぬばたまの 夜よるさり来くれば 巻向まきむくの 川音かはおとたか高たかしも
あらしかも疾とき